

指導教員名	上田真由美
-------	-------

活動区分	商品開発型	連携先	企業
	IT活用支援型		

～ 神戸学生イノベーターズ・グランプリ(IIグランプリ) ～

活動の様子



チームハラダプレゼン風景



プリンエンジニアーズプレゼン風景

企画・活動概要

2023年度神戸イノベーターズグランプリは、アシックス商事株式会社の協力を得て、スポーツデータ分析システムASICS TUNEGRIDの活用方法を提案する企画であった。上田ゼミでは、2年生1チーム、3年生1チームがエントリーし、情報関連技術に取り組むゼミとして今後の研究開発につなげることが可能な提案を行った。

経緯・背景・目的

全体のテーマが「TUNE GRIDの活用方法」の提案であったため、TUNE GRIDとその他のIoT機器やサービスを組み合わせた新規サービスの企画に取り組んだ。



チームハラダプレゼン資料

取り組む課題

上田ゼミでは以下の2テーマに取り組んだ。
 プリンエンジニアーズ(2年):「身軽に気軽に安全に! ジョギング・ランニング! チューングリッドシューズ」
 外出時の鍵の閉め忘れや電気の消し忘れを防止するため、TUNE GRIDとスマートホームデバイスを接続したセキュアホームを提案

チームハラダ(3年):「目指せてっぺん〜ムキムキマッチョ〜」
 スポーツジムと連携し、ランニングマシンで走った距離を計測し、全国でのランキングを公開。健康管理を行うとともに、他のジムで利用している利用者と競争することができる仕組みで、モチベーションを維持する効果を期待。

本学(学生)の役割

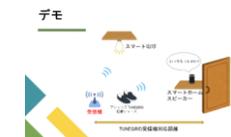
企業から与えられた課題に対して、提供されている情報と、自分たちで収集した情報を分析し、解決策となる提案を行うことが学生の役割である。「自分たちはどのような仕組みだと使いたくなるか」ということをテーマに検討した。ただし、企業に対する提案であるため、単なる「思いつき」ではなく、「現状の問題点」、「提案」、「提案を実現するための手法」、「競合との差」について考え、企業に対して説明できるように準備した。



チームハラダプレゼン資料2

活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

取り組みでは、現状の問題点、提案、提案を実現するための手法、競合との差を明確にするよう、気を付けて準備をした。限られた時間内でグループワークを行うため、役割分担を明確にしたことで、準備が滞ることなく順調に進んだ。また、役割分担をしたものを、まとめるためクラウドサービスを有効活用する力を身につけることが出来たと考える。



プリンエンジニアーズプレゼン資料

指導教員および関係者の紹介

<指導教員>

経済学部
 経済情報学科
 教授
 上田真由美(ウエダマユミ)

<関係者・企業等>

アシックス商事株式会社

<専門・担当科目等>

(専門) データ分析、情報推薦、ユーザ支援
 (担当科目) 情報学概論、意思決定論など

情報技術を活用して、日々の生活をより便利に、安全に、楽しくできるような研究をゼミで行っています。社会共創活動は、実際に企業が求めていることに対して、ゼミのメンバーでより良い提案ができるよう、議論を繰り返しています。